

内海小かわら版 号外

令和3年度 学校評価について

令和4年2月

保護者・全児童・教職員を対象に、今年度の本校の教育についてアンケートを実施し、検証しました。概要を、以下の通り報告させていただきます。紙面の関係で一部の紹介となりますことをご了承ください。アンケートの結果については、ホームページでも紹介しています。

(アンケート回収数 児童200人 保護者142人〔兄弟でそれぞれ回答する項目については189人〕 教職員15人)

① 学校生活について

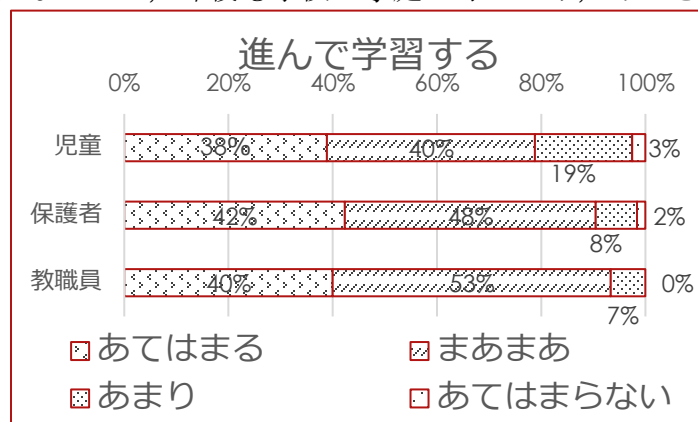
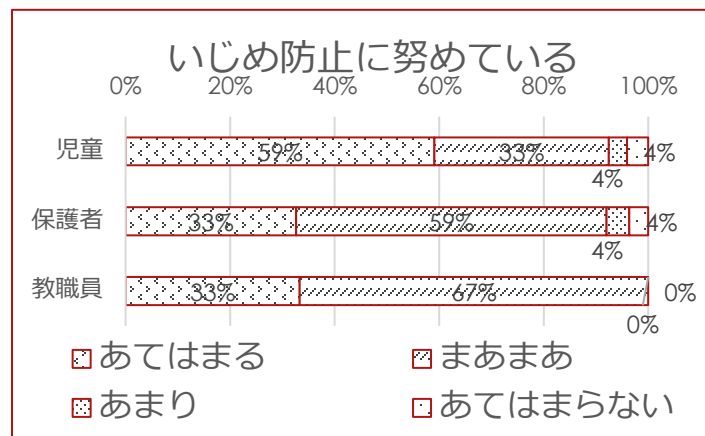
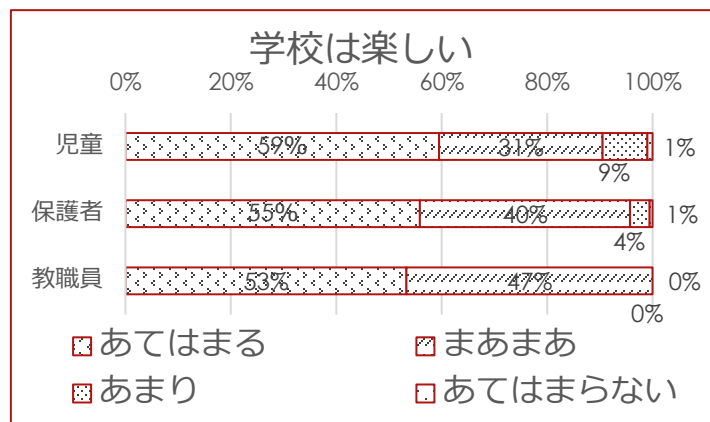
昨年度同様90%の以上の児童・保護者が学校生活を楽しいと回答しています。その一方で、「(あまり)楽しくない」という児童が、10%(19名、昨年度9%で18名)います。

いじめ防止の取り組みについては、「いじめが起きないように気を付けている」と答えた児童が、92%います。「学校が、いじめや体罰防止に努めている」と保護者の92%が回答しています。今後も、いじめ・体罰防止に努め、保護者と連携しながら、児童が安心して生活できる学校づくりを目指していきます。

あいさつについては、「自分は進んであいさつをしている」と86%の児童(昨年度86%)、「学校は、あいさつ運動に積極的に取り組んでいる」と92%の保護者が回答しています。保護者・交通指導員・地域の皆様、交通立哨をありがとうございます。気持ちよくあいさつを交わすことができることは、人との関わりについて大切な要素だと考えます。アンケートのご意見からも十分ではないので、今後も学校・家庭で呼びかけ、あいさつに対する意識の向上につなげていきます。

② 学習面について

保護者・教職員の約90%が、児童が学習に意欲的であると認識しています。それに比べ、進んで学習していると回答した児童は78%と低く、「(あまり)意欲的でない」と答えた児童が22%(42名)います。児童が、意欲的に学習に取り組み、充実した学びを実感できるよう指導方法を工夫・改善



し、「授業が分かる」「学ぶことは楽しい」と感じられるよう努めていきます。また、本年度より、全児童一人1台のタブレットが貸与されました。文章やプレゼンテーション作成、写真撮影、調べ学習など、道具として活用し、学習への意欲・理解の向上を図ります。教員にとっては、視覚的情報を効果的に使ったり、児童の意見を集約したりするなど効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくりを目指しています。

家庭学習については、「宿題など家でもしっかりと勉強している」という児童が88%（昨年度89%）、「子どもは、家庭学習をしている」という保護者は、88%（昨年度87%）です。学年に応じて、宿題だけでなく自主的に学習する児童をご家庭の協力をいただきながら、育てたいと考えています。

また、読書について、「本を読むのが好きである」と85%（昨年度81%）の児童が回答しています。始業前の朝の読書タイムや読み聞かせボランティア「めだかの学校」による絵本の読み聞かせの機会を設けたり、読書の魅力を伝えたりして、読書を通しての知的好奇心の向上を促していきます。読書は心の栄養です。本の世界を楽しんだり、ものの見方について考えたりできるよう啓発していきます。

③ 学びの保障・感染症対策について

昨年度に続き、教室環境、授業、運動会・学芸会・野外活動・修学旅行などの行事では、新型コロナウイルス感染症対策を意識しながら取り組んできました。96%（昨年度95%）の保護者が「学校は、学びの保障に努めながら、感染症対策に取り組んでいる」と回答しました。今後も、引き続き、感染状況を見て判断しながら、児童の学びを保障し、児童が安心して生活できる学校にしていきます。また、健康チェックカードは、町内全小中学校で取り組んでいます。児童の健康状態の把握のため、ご協力ください。

④ その他

「学校ホームページで学年ごとのおたよりが確認できるようにしてほしい」とのご意見がありました。学年だよりは、該当学年の児童・保護者を対象としており、児童名の掲載がありますので、ホームページでの公開をしていません。また、「ホームページの写真は、いつも楽しみにしています。子どもたちの様子が見られるのはうれしいです」という評価もいただきました。コロナ禍でご来校の機会が減っているだけに、児童の様子を多く伝えられるよう迅速な更新を続けていきます。

貴重なご意見ありがとうございます。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

